

いのち☆くらしが一番

渡辺 たつお



渡辺たつおはこんな人

- 小学校同級生の父親が、弁護士として長沼ナイキ訴訟で憲法を守るために活躍しているのを見て、弁護士に憧れ、小学校卒業文集で「将来弁護士になる」と書いた。
- 料理は、つくるのも食べるのも大好き。
- 雪のない時期は自宅から法律事務所まで自転車通勤。
- スキーとテニス（あまり上達しないですが）が好き。

渡辺たつおの主な経歴

札幌市在住 家族 妻

1964年9月22日生 54歳 東京生まれ(生後すぐ札幌へ転居)

1977年3月 札幌市立藻岩北小学校卒業

1980年3月 札幌市立藻岩中学校卒業

1983年3月 札幌南高校卒業

1991年11月 司法試験合格

1992年3月 一橋大学法学部卒業

1994年4月 札幌弁護士会入会・北海道合同法律事務所入所

歴任した主な役職

札幌弁護士会副会長

札幌弁護士会貧困と人権に関する対策本部長代行

札幌弁護士会消費者保護委員会委員長

現在の役職

○日本弁護士連合会貧困問題対策本部委員

○雇用・くらし・SOSネットワーク北海道代表

○薬害オンブズパースンティアップグループ札幌代表

事務局長及び代表としてかかわった裁判

生活保護基準引き下げ札幌訴訟

薬害エイズ札幌訴訟

NTTリストラ札幌訴訟

植村札幌訴訟

市民主権を 実現する会

2019年3月8日

電話：815-4700

FAX：815-8219

札幌市中央区南8条西13丁目

渡辺たつおさんを推薦します



元札幌弁護士会会長

田中 宏さん

元日本弁護士連合会会長
反貧困ネットワーク代表

宇都宮 健児さん

精神科医・立教大学教授

香山 りかさん

映画監督

影山 あさ子さん

新日本婦人の会のみなさんと

地方こわしを進める安倍政権・自民党に 支援される市政で良いですか？

国言いなりではなく市民主権を実現し いのち・くらし第一の市政を

総額1000億円道路建設をやめ くらしと福祉を優先します

- 保育所、特別養護老人ホームの建設を進めます。
- 給付型奨学金を拡充します。
- 中学卒業まで子ども医療費を無料にします。
- 高すぎる国保料を引き下げます。
- 市営住宅の建て替えと建設を進めます。
- 保育・介護・福祉で働く人の処遇改善で人材確保を図ります。



今の市長は国の計画に沿った、道路建設や駅前、中心街開発を優先しています。当選後すぐに経済界の意向を受けて安倍首相の所へ駆けつけたほどです。

1兆円の予算を活用してくらしと地域経済を良くします

- 公契約条例で、市が主導してワーキングプアをなくし、民間を含めた賃金の向上を図ります。
- 道外から大企業を呼ぶのではなく、地元企業を中心に正規雇用を増やします。
- 防災、インフラ老朽化対策工事、学校、福祉施設建設などで地元企業の仕事を増やします。

今の市長は、雇用が増えたと言いますが、非正規雇用労働者ばかりで、市の指定管理者制度の3分の2が非正規、保育士も4割以上が非正規です。市が率先して不安定雇用をなくし、最低賃金の底上げも図るべきです。

原発をやめ自然再生エネルギーに転換します

- 泊原発の再稼働に反対し、廃炉をめざします。
- 地域の環境保全や防災と両立した、自然再生エネルギーの開発と普及を進めます。

今の市長は、「原発に依存しない社会を」と言いますが、原発は国の責任という立場で、自身の見解を表明しようとしません。電力会社にも国に対してもきちんとモノを言い、市民の安全を守るべきです。